



Lions Clubs International

# ホスト・ファミリー ハンドブック

---

# 目次

はじめに.....	2
青少年の保護に関する条項.....	2
ユースキャンプ及び交換(YCE) .....	2
背景 .....	2
プログラムの定義 .....	2
ホスト・ファミリーの役割 .....	3
ホスト・ファミリーとして求められること .....	4
部屋と食事 .....	4
移動手段.....	4
経済的責任 .....	4
個人情報保護 .....	4
交換生の選択 .....	4
受け入れ開始前に.....	5
通信 .....	5
他国の文化に関する予備知識 .....	5
保険 .....	5
ホスト・ファミリーのオリエンテーション及び懇親会 .....	5
受け入れ期間中.....	6
到着 .....	6
時差ぼけ .....	6
ホームシック .....	6
言語 .....	6
事故、病気、及び緊急時の対応.....	7
ホスト・ファミリーの活動.....	7
ホスト・クラブ .....	7
交換生に求められること.....	8
ホスト・ファミリーの変更.....	8
国際ユースキャンプ .....	8
早期帰国またはプログラム前後の旅行 .....	8
ホスト・ファミリーとの不和またはホスト・ファミリー変更の必要性 .....	8
受け入れ終了後.....	9
出発 .....	9
帰国後 .....	9
ホスト・ファミリー チェックリスト .....	10

# はじめに

皆さんは、ライオンズクラブ国際協会 ユースキャンプ及び交換(YCE)のホスト・ファミリーになりました。おめでとうございます！YCEプログラムにおいて交換生(15～22歳)のホスト・ファミリーになるということは、対話や文化活動、日常生活の体験を通じてお互いの文化を共有できる実りある経験となるに違いありません。

このハンドブックでは、ホスト・ファミリーとしての役割と責任について確認することが出来ます。また全ての関係者にとってYCEが成功体験となるよう、規則と役割について記載しています。

多くのホスト・クラブでオリエンテーションを実施しており、その中で各地域のYCEプログラムについて聞くことができます。ホスト・クラブでホスト・ファミリー用のオリエンテーションが実施される場合には、参加することを検討してみてください。

## 青少年の保護

- ・ YCEプログラムの全ホスト・ファミリーは、参加する全ての青少年に安全な環境を提供し、維持しなければなりません。
- ・ 地域のYCE委員長と連絡をとり、虐待やハラスメントなどの問題などの報告、対応についてしっかり準備しましょう。
- ・ 地域のYCE委員長と連絡をとり、自然災害や社会・政治不安などの非常事態における危機管理への対応にも備えましょう。
- ・ ライオンズクラブ国際協会のいかなる方針や手順にもかかわらず、ホスト・ファミリーは青少年保護に関する現地法と規制に従わなければなりません。

# ユースキャンプ及び交換

## 背景

青少年交換プログラムは、日米のライオンズクラブが行った夏季交換プログラムが成功したこと受け、1961年初頭に国際理事会で承認されました。その後、1974年にユースキャンププログラムが承認されています。この2つのプログラムから成るユースキャンプ及び交換プログラムは、「世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる」という国際協会の第一の目的を更に推進するために作られました。

## プログラムの定義

YCEには、観光、学業、職業体験は含まれません。このプログラムでは、青少年参加者は海外で暮らすこの機会を通じて、新しい文化を体験しながら、自身の文化を伝えるよう奨励されます。YCEプログラムは、国際青少年交換と国際キャンプの二つの主な事業からなるプログラムです。



## ホスト・ファミリーの役割

ホスト・ファミリーは、青少年参加者を家族の活動全般に参加させ、普段の生活や文化を意識的に共有する意思がなければなりません。

例えば博物館や自然公園の見学、地元の観光ツアー、スポーツ、音楽イベントなど、様々な文化活動を計画してください。

- ・ 他のホスト・ファミリーと共同で行う活動も推奨しています。
- ・ 終日(あるいは数日)の旅行は青少年参加者が望まない可能性があることを意識しておいてください。あなたや家族が好んで訪れる場所を青少年参加者に見せてあげるようにしてください。
- ・ ホスト・ファミリー体験の前後に、対面またはオンラインでのホスト・ファミリーのオリエンテーションや懇親会に家族全員が参加することが強く推奨されています。



# ホスト・ファミリーとして求められること

## 部屋と食事

- ・ 青少年参加者に部屋と食事を提供してください。同年代で同じ性別の青少年を同室に割り当てることを推奨します。またバランスがとれた、健康的な食事を提供してください。

## 移動手段

- ・ プログラム期間中の青少年参加者の移動手段は、通常はホスト・ファミリーが責任を持って提供します。移動には、空港や駅からの送迎、他のホスト・ファミリーや国際キャンプへの移動、ホスト・ファミリーやホスト・クラブが事前に計画している活動への移動などが含まれますが、この限りではありません。

## 経済的責任

- ・ 文化活動にかかる支払いは、ホスト・ファミリー、青少年参加者、ホスト・クラブ間での合意によって決まります。
- ・ ホスト・ファミリーに手当てや奨学金を提供するプログラムもあります。
- ・ 所属の地域のYCE委員長またはホスト・クラブに詳細を確認してください。

## 個人情報保護とソーシャルメディア

- ・ ホスト・ファミリーは、日本の個人情報保護法に従い、青少年参加者の個人情報を適切に保護しなくてはなりません。
- ・ ソーシャルメディアにYCE期間中の写真やビデオを掲載することについては、書面による同意書の取得をお勧めします。

## 交換生の選択について

- ・ YCEプログラムによって、青少年参加者の選択基準は異なります。
- ・ ホスト・ファミリーとして青少年を受け入れられるかどうかは、希望の年令、性別、関心事、国籍や、これらの希望に合う参加者の有無によります。
- ・ YCE委員長から受け入れ可能な青少年についてアドバイスを受けて、時間に余裕がある場合は、条件に合う青少年を探してもらったりすることもできます。

# 受け入れ開始前に

## 連絡

- ・ 受け入れる青少年が決まったら、まずホスト・ファミリーから連絡を取ってみてください。連絡方法は、手紙、写真やその他ホスト・ファミリーが青少年と共有したい家族、生活、家などを紹介できるものなどがあります。ご自身の地域に関する情報や、青少年参加者と一緒に行いたい活動について伝えてください。
- ・ 旅行にもってくるよなもの（例えば、天候に合わせたもの、活動に必要なものなど）を教えてあげてください。
- ・ ホスト・ファミリーがプログラム期間中に使用する予定の言語で連絡を取ることをお勧めします。
- ・ 不都合が生じた場合には、ホスト・クラブのYCE委員長に直ちに連絡してください。
- ・ 青少年参加者の宗教や文化による食事制限についてご留意ください。そのような制限については、青少年参加者の到着前に確認してください。
  - またホスト・ファミリーに宗教や文化による食事制限がある場合には、青少年参加者が到着する前にはっきりと伝えてください。
- ・ 文化的事情により、コミュニケーションが性別に左右される場合もあることを心に留めておいてください。
  - 例えば、女性は女性となら安心して連絡できるケースもあるでしょう。

## 他国の文化に関する予備知識

- ・ 青少年参加者の到着までに、彼らの生活と文化について学ぶようにしてください。知識があればあるほど、青少年が経験し得るカルチャーショックに上手く対応することができます。

## 保険

- ・ スポンサー・クラブと青少年参加者の家族は、青少年が来日する前に適切な医療及び旅行保険に加入させる責任があり、青少年参加者側のYCE委員長に保険内容を確認してもらう必要があります
- ・ YCEプログラムとその参加関係者は、ライオンズクラブ国際協会の賠償責任保険の補償対象となっています。ホスト・ファミリーなどプログラム関係者が事故や緊急事態において損害賠償の責任を負う場合、この保険での対応が考えられます。
- ・ 青少年参加者は、ライオンズクラブ国際協会の賠償責任保険の補償対象以上の事項を補償する保険に加入することが推奨されています。
- ・ 青少年の来日前に保険について決めておくことが重要です。ホスト・ファミリー、ホスト・クラブ、スポンサー・クラブ、YCE委員長全員が、計画している活動に基づく十分な保険かどうかを見極め、保険証番号、青少年参加者が加入した保険会者の電話番号や支店名等の詳細を共有しておく必要があります。
- ・ 青少年参加者は、プログラム主催の複合地区、地区、またはクラブに、加入した保険の情報を提供しなければなりません。また、原本の紛失に備えて、保険証、パスポート、旅程表等のコピーをとっておくことが推奨されます。
- ・ 所属の地域のYCE委員長やホスト・クラブに詳細を確認してください。

## ホスト・ファミリーのオリエンテーション及び懇親会

- ・ 各種調整のため、ホスト・クラブ及びYCE委員長と常に連絡をとっておくことを強くお勧めします。
- ・ ホスト・ファミリーの家族全員でYCEプログラムで主催する各種オリエンテーションに参加してください。
- ・ プログラムによっては、青少年参加者の来日前や離日後にホスト・ファミリー用のアクティビティを実施しています。そのような機会に他のホスト・ファミリーとのつながりを築いてください。青少年を受け入れる期間を通して、他のホスト・ファミリーから有益な情報を得られるかもしれません。

# 受け入れ期間中

## 到着

- ・ 空港や駅のどこで、いつ青少年参加者を迎えるのか具体的な計画を立てておいてください。
  - 青少年参加者が出迎えについて理解し、チケットや日本円の準備ができていることを確認してください。
- ・ 到着時には青少年参加者が物事に敏感になっていることにご留意ください。においの違い、服装、言語に対するカルチャーショックの反応をすぐ示す青少年もいます。
- ・ 青少年参加者と連絡を取っていた家族が空港に出迎えることを強くお勧めします。
  - もしそれが難しい場合には、出迎える家族の写真や名前などの情報を確実に伝えてください。
- ・ 遅延、荷物紛失や安全上の問題が発生した場合の対応について、青少年参加者と事前に準備しておいてください。
- ・ 青少年参加者に、到着後すぐ、親/保護者に電話、ソーシャルメディア、e-mailなどで無事に到着した旨を連絡させてください。

## 時差ぼけ

- ・ 時差がある地域から来日した青少年参加者は時差ぼけになる可能性があることを忘れないでください。(時差が大きければ大きいほど、時差ぼけもひどくなります。)
- ・ 彼らが日本時間に体を合わせられるよう、最初の2日間はあまり多くのアクティビティを入れないようにしましょう。

## ホームシック

- ・ ホームシックの状態をすぐ心配せず、2-3日様子を見ましょう。
  - エネルギーをあまり使わず、映画鑑賞やボードゲームなど、楽しく文化体験ができるアクティビティを計画しましょう。
- ・ ホームシックの症状:内にこもる、無口または不機嫌、自分の家のことをよく話す、過剰な睡眠、体重の増減、ひどい落ち込み、その他不規則な挙動
- ・ できるだけ自然に、青少年参加者が家族の一員であることを感じさせることが重要です。そうすることで、青少年が安心し、くつろぎを感じることができます。
- ・ 行動が激化した場合は、YCE委員長に連絡してください。
- ・ 青少年参加者の精神のよりどころ気を配ってください。もしホスト・ファミリーと違うものであれば、礼拝所のリストを提供したり、家の中で適切に精神活動が行えるようにしたりするとよいかも知れません。そうすることにより、ホームシックを軽減することができます。

## 言語

- ・ 青少年参加者はホスト・ファミリーが話す言語があまり流暢ではない可能性があることを覚えておいてください。
- ・ 青少年参加者が新しい言語に慣れるまで、辛抱強く、ゆっくり話し、俗語を避けてください。
- ・ 青少年参加者が過度にうなずく時には、たいてい理解していないと思ってください。

## 事故・病気、及び緊急時の対応

- ・ ホームステイ期間中に救急事態が起きるかも知れません。
- ・ 緊急時に備え、青少年参加者が持っている保険証情報のコピーを確認しておいてください。保険証のコピーは青少年参加者に常に持たせてください。
- ・ ホスト・ファミリーやYCE委員長が青少年参加者に治療を受けさせることを許可されているかどうかは、参加申込書で確認することができます。
  - 緊急時には、送り出す側と受け入れる側のYCE委員長に、直ちに連絡してください。
  - この参加申込書では、保険で補償されていない医療、事故、病気の支払い責任者も確認することができます。
- ・ YCE委員長は、青少年参加者の事故、病気などについてその親に連絡をとらなければなりません。
- ・ 参加申込書には、疾患、アレルギー、食物アレルギーなどの情報があります。
  - 来日前に、処方されている必要な薬を全て持っているかを確認してください。

## ホスト・ファミリーの活動

- ・ 青少年参加者に家の中を案内し、寝室・寝具、電化製品の使い方、家のルールを教えてください。周辺地域の地図や、家の暗証番号やパスワードのリストをあげるのも良いでしょう。
- ・ 青少年参加者はお客様ではないので、家族の一員として接しましょう。もし、彼らにして欲しい家事やその他用事があれば、はっきりと伝えてください。
- ・ 現金や旅行に関する重要な書類などを安全に保管できる場所を提供してください。
- ・ 青少年参加者に自国の食べ物、特有のテーブルマナーなどの食文化を共有する機会を与えてください。ホームシックを軽減させ、相互理解の精神を培い、互いの要望の把握に大いに役に立ちます。
- ・ ウェルカムギフトを用意することは、青少年参加者を家族として歓迎していることを示す優れた方法ですが、ギフトは、リーズナブルな価格帯のものでなくてはなりません。
- ・ 青少年参加者を長時間一人にしないようにしてください。例えば、子供が学校に通い、保護者も出勤の場合、青少年参加者が一人にならないように調整をしてください。
  - 楽しく、活発で、文化的な活動日程を用意してください。
  - 青少年参加者が孤独を感じないよう、他のホスト・ファミリーとのアクティビティを日程に加えることもできます。
- ・ 青少年参加者が他の青少年と外出やキャンプなどのアクティビティに参加している場合、青少年参加者は、自分の国のに連絡したりせず、青少年参加者同士の関係構築に取り組まなければいけません。

## ホスト・クラブ

- ・ ホスト・クラブは、プログラム期間中発生する質問、コメント、懸念事項に対応しなければなりません。
- ・ 青少年参加者がホスト・クラブの例会や奉仕事業に参加することを強く推奨します。

## 交換生に求められること

- ・ 家のルールを尊重し、守らなければなりません。
- ・ 訪問している国、県、市などの法と規則に従わなければいけません。
- ・ YCEプログラムの期間中、青少年参加者が自動車を運転することは禁止されています。
- ・ YCEプログラム期間中、薬物の使用は固く禁じられています。
- ・ 飲酒とタバコは、日本の法律に定められた年令、ホスト・ファミリーや参加するYCEプログラムのルールに従います。
- ・ 恋愛関係は、避けるべきです。
- ・ YCEプログラムに関係のない友人、家族など部外者がプログラムに参加することは固く禁じられています。

## ホスト・ファミリーの変更

- ・ プログラムの期間中に一つ以上のホスト・ファミリーに滞在する青少年参加者もいます。
- ・ 青少年参加者が十分な交換体験ができるよう、青少年参加者とのコミュニケーションを制限し、次のホスト・ファミリーを尊重してください。
  - あなたが後にホスト・ファミリーになる場合、ファミリーの変更は青少年参加者にとって大きな変化であることを心に留めておいてください。
- ・ 他のホスト・ファミリーと連絡を取り、互いに異なったアクティビティを計画し、ホスト・ファミリーの交代をいつ行うかを調整してください。

## 国際ユースキャンプ

- ・ ホスト・ファミリーの変更と同様に、ホームステイ期間中にキャンプに参加する青少年参加者もいます。
- ・ キャンプの日程を把握し、移動手段の調整などを確認しておいてください。
- ・ ホスト・ファミリーは、ビジターズデーにのみキャンプを訪れることができます。

## 早期帰国またはプログラム前後の旅行

- ・ 早期帰国の定義は以下の通りです。
  - 青少年参加者が医療的または家族の緊急事態のために帰国する必要がある。
- ・ プログラム前後の旅行の定義は以下の通りです。
  - 青少年参加者がYCEプログラム日程の前後に自由に旅行をする。
- ・ プログラムによっては、滞在延長を厳しく禁止しています。
- ・ 早期帰国やプログラム前後の旅行を認める場合、YCE委員長やホスト・クラブとその対応方法について確認をおいてください。
  - 早期帰国、プログラム前後の旅行のほとんどは、到着前に通知があり、青少年参加者とその家族による書類が提出されます。
  - 送り出す側のYCE委員長もこの取り決めについて知っておく必要があります。

## ホスト・ファミリーとの不和またはホスト・ファミリー変更の必要性

- ・ ホスト・ファミリーと交換生との間で折り合いが極めて悪くなった場合には、ホスト・クラブとYCE委員長がうまく対応しましょう。
  - 極端な場合、青少年参加者を帰国させる必要もあり得ます。
- ・ 青少年参加者を受け入れることが決定した後ホスト・ファミリーがプログラムから辞退した場合は、ホスト・クラブ又はYCE委員長が青少年参加者を新しいホスト・ファミリーに変更します。

# 受け入れ終了後

## 出発

- ・ 青少年参加者の出発に立ち会ってください。そうすることにより、帰国後の生活の変化を和らげることができます。

## 帰国後

- ・ 青少年参加者の帰国後は、彼らとの連絡を維持してください。
- ・ ライオンズクラブ、レオクラブの入会について学びましょう。
- ・ 質問、コメント、懸念事項を含め、ホスト・ファミリーとしての経験についての評価をホスト・クラブに伝えてください。あなたからのフィードバックがプログラムの向上につながります！

### ありがとうございます！

このプログラムに参加していただいたことに、世界中でYCEに携わるライオンズから心からの「ありがとう」を送ります！皆さんのおかげで、ライオンズ会員は「世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる」という国際協会の目的に一步近づきました。

# ホスト・ファミリー チェックリスト

## 交換生の到着前

YCE委員長またはホスト・クラブと以下について確認しました。

- 家族の面接と選考の実施
- ホスト国に関するプレゼンテーションの予定(該当する場合)
- 青少年参加者が出席できる奉仕事業など、ホスト・クラブとの各種イベント計画
- 救急事態、社会・政治不安、自然災害などの場合の対応についての計画を受領
  - 送り出し/受け入れ側のYCE委員長、ホスト・クラブ、スポンサー・クラブに、緊急時の対応について周知
- ホスト・ファミリーとしての経済的責任を理解
- ホスト・ファミリーのオリエンテーション、懇親会への出席

交換生のために以下を準備しました。

- ベッド
- 寝室
- 貴重品の保管場所
- 食事
- 文化活動のスケジュール
- 家のルール、鍵、パスワード、暗証番号のリスト
- 青少年参加者に期待する家事等のリスト

交換生について、以下を行いました。

- 青少年参加者と連絡をとった。
- 私たちの風習、文化に関する準備させ、期待すべきこと、持参するものなどを伝えた。
- 彼らの文化についての学習した。
- 医療及び旅行保険、旅行に関する書類(フライト、列車情報、パスポート)などの原本を持参することを確認した。
- 空港や駅での出迎えに関する計画を立てた。
- 遅延や到着後の荷物、安全上の問題が発生した際の対応を決定した。

交換生の到着及び滞在について、以下を行いました。

- フライトの時間を確認した。
- フライトの運行状況を確認した。
- 列車の時刻を確認した。(該当する場合)
- 列車の運行状況を確認した。(該当する場合)
- 青少年参加者に無事到着の旨を親/保護者に連絡させた。
- 時差ぼけ解消のための時間を与えた。
- 家のルールと彼らに求めること伝えた。
- 青少年参加者に必要に応じて緊急事態の対応計画があることを知らせた。
- 期待できる楽しいアクティビティのリストを共有した。
- 青少年参加者とホスト・クラブの間に入り、国の紹介プレゼンテーションとアクティビティについて調整した。
- 新しいホスト・ファミリーや国際キャンプまでの移動手段について準備した。
- 楽しんだ！

## 交換生の帰国時

交換生の出発と交換生の滞在後について、以下を行いました。

- フライトの時間を確認した
- 運行状況を確認した。
- 列車の時間確認した。
- 列車の運行状況を確認した。
- 自宅からの出発について相談し、計画を立てた。
- 帰国後も青少年参加者との連絡を続けている。
- ライオンズクラブ、レオクラブの入会に関する情報を受け取った。
- 質問、コメント、懸念事項を含め、ホスト・ファミリーとしての経験についての評価をホスト・クラブまたはYCE委員長に伝えた。